令和３年度
おおさき福祉の心コンクール

みなさんが感じた日常の中での福祉を表現してみませんか？

≪テーマ≫ ～つたえてみようあなたのふくし～

みなさんの心あたたまる作品を募集しています！

福祉作文

福祉ポスター

福祉川柳

応募〆切 ▶▶ 令和３年９月３日（金）まで！

※応募の詳細は裏面をご覧ください。

社会福祉協議会とは

「社会福祉協議会」は、略して「社協」と呼ばれています。社会福祉協議会は、地域の福祉を推進するため、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざし、地域住民のみなさんやボランティア、保健・医療・福祉等の関係者、行政機関などの協力を得ながら、共に考え実行していく民間の社会福祉団体です。全国・都道府県、みなさんがお住まいの市区町村のそれぞれに設置されております。

主催 社会福祉法人大崎市社会福祉協議会
大崎市共同募金委員会

後援 大崎市・大崎市教育委員会・大崎タイムス社
大崎市ボランティア連絡協議会・大崎市民生委員児童委員協議会
大崎市障がい者福祉協会・大崎市老人クラブ連合会（依頼中）

この事業は、赤い羽根共同募金の財源を活用して実施しております。

社会福祉法人大崎市社会福祉協議会

令和３年度おおさき福祉の心コンクール募集要項

趣　旨

大崎市内の学校に在籍する小・中学生を対象に福祉に関する作品に取り組む事を通じて、地域福祉活動やボランティア活動への関心を高め、「思いやり」や「支えあい」の心を育む事を目的に行います。

主　催

社会福祉法人大崎市社会福祉協議会
大崎市共同募金委員会

後　援（依頼中）

大崎市・大崎市教育委員会・大崎タイムス社
大崎市ボランティア連絡協議会・大崎市民生委員
児童委員協議会・大崎市障がい者福祉協会
大崎市老人クラブ連合会

募集内容

福祉（ふくし）に関する内容の作品とします。
例えば、日常での家族や友人との「思いやり」や「支えあい」の体験、ボランティア活動や福祉体験学習、赤い羽根共同募金など、みなさんの身近な体験等を通じて感じた思いを表現して下さい。

①福祉作文の部（小学生の部、中学生の部）
・４００字詰め原稿用紙おおむね２枚以上３枚以内とします。
・原稿用紙には、一行目にタイトル（題名）、二行目に学校名、学年、氏名を記入し、三行目から書き始めて下さい。
・作品は、原稿用紙右上をホチキス止めし、原稿用紙最終ページの裏側へ応募用紙を貼付けして下さい。

②福祉ポスターの部（小学生の部、中学生の部）
・４つ切り画用紙（54cm×38cm 程度）１枚とします。
・作品裏側へ応募用紙を貼付けして下さい。
・作品提出の際は、作品を折り曲げたり丸めたりせずに提出して下さい。

③福祉川柳の部（小学生の部、中学生の部）
・「五・七・五」の１７音を基本とします。
・Ａ４用紙の縦半切サイズ（短冊型）とします。
・作品裏側へ応募用紙を貼付けして下さい。
※川柳…季語が必要なく、五・七・五の１７音を基本としたもので、言葉遣いや表現内容等も特に決まりはありません。

テーマ

～つたえてみようあなたのふくし～

応募資格

大崎市内の学校に在籍する小学生･中学生とします。

応募締切

令和３年９月３日（金）必着
（最寄の大崎市社協各支所へ提出下さい。）

応募方法と注意事項

①作品は、各学校の担任の先生へ提出下さい。
②点数制限はしませんが、ある程度学級ごとに選定し応募願います。
③応募の際には、必ず作品応募用紙へ学校名・氏名等を記入し、指定の場所へ貼付けし応募下さい。
④各学校で取りまとめいただき、別紙の出品者名簿に記入し、作品をまとめて提出下さい。
⑤応募作品は、作品審査及び優秀作品等の展示が終り次第、学校を通じて返却します。
⑥作品は、自ら書いたものとし、未発表のものに限ります。
⑦作品の出品については各部門１人１点とします。
⑧入選作品の諸権利は、大崎市社会福祉協議会に帰属します。
※コンクール終了後､入選作品集やホームページ、社協だより、新聞等へ掲載予定
⑨選考経過に関する問い合わせには、応じられません。

選考方法

①　地域選考会（令和３年　９月上旬）
②　最終選考会（令和３年１０月上旬）

賞及び表彰

①最優秀賞　・・・３部門　各１名・・・計　６名
賞品：賞状と副賞【図書カード５，０００円分】

②優　秀　賞　・・・３部門　各２名・・・計１２名
賞品：賞状と副賞【図書カード３，０００円分】

③優　良　賞　・・・３部門　各３名・・・計１８名
賞品：賞状と副賞【図書カード１，０００円分】

④参　加　賞　・・・３部門　全　員

※表彰については１０月下旬を予定しており、入賞者に賞状並びに副賞を贈呈します。